

日産自動車、医療用フェイスシールドを製造し、日本の医療現場に提供

日産自動車は、新型コロナウイルス対策への支援の一環として、医療用フェイスシールドを製造し、日本の医療現場に提供いたします。

日産は、逼迫している医療現場のお役に立てるよう、各事業所で保有する 3D プリンターを活用して医療用フェイスシールドの製造を行っていきます。まずは、テクニカルセンター、総合研究所、横浜工場にて、月約 2500 個のフェイスシールドを 4 月より生産を開始し、医療現場にご提供する予定です。



また、日本政府の要請に基づき、人工呼吸器及び人工心肺装置の製造メーカーへの支援の検討を開始しました。今後、日産グループとして、これらの医療用機器製造のための工程改善の提案、増産場所や人材の提供、不足部品の供給等を提案して参ります。

海外においても、医療現場への支援を開始しています。米国では 3D プリンターを活用し医療用フェイスシールドの生産を行い、ミシガン州、ミシシッピ州、テネシー州の医療施設に寄付します。

英国では、サンダーランド工場の従業員がボランティアとして、医療用フェイスシールドの提供を支援しています。同工場では、今週までに 77,000 個のフェイスシールドを出荷し、

その後は最大で毎週 100,000 個を出荷する見通しです。日産は、フェイスシールドの生産能力を大幅に引き上げるため射出成形機の購入を援助しています。

スペインでは、サンパウ病院、QEV テクノロジーズ、Eurecat とのコラボレーションにより、人工呼吸器の製造を開始します。今週から、バルセロナのパワートレイン工場にて生産を開始します。

日本語原文 <https://global.nissannews.com/ja-JP/releases/200416-02-j>

文 JST 客観日本編集部